

様式4

令和4年度 第2回学校運営協議会評価報告書

鳥取県立米子工業高等学校

校長 松川 明義

評価日	令和5年1月31日（火）
評価・提言	学校の所見・改善策
1 重点目標の達成状況について ○評価の具体項目の中には達成状況が芳しくない項目もあるが、重点目標は概ね達成できている。 2 目標達成のための取組結果について ○「米工MAKERS」での情報発信は素晴らしいと思う。しかしながら、保護者確認状況があまり良くないのは、発行頻度にも関係するのではないか。 3 具体目標の達成状況について ○生徒の進路先への合格・内定状況がほぼ100%となっているのは良い。 ○進学・就職別の割合、就職先の地域別割合、新型コロナウイルス感染症による就職地域への影響、女子生徒の進路先の傾向などについて情報共有出来たこととても良かった。引き続き、地元を支える人材育成をお願いしたい。 4 目標達成のために取り組んだ具体方策について ○自転車用ヘルメット着用の重要性に加え、自転車乗車時のイヤホン使用の危険性についても周知してもらいたい。 ○課題研究全体発表会が中止となったのは残念であるが、創立100周年記念行事において各科代表の発表を行ったのは良かった。 5 その他 ○特色入学者選抜において、工業科の専門高校として求める生徒像と連動した検査内容となっているのは良い。	○学力向上と授業改革においてはSPI小テストの在り方、chromebookの更なる活用を検討する。 ○次年度は生徒の何気ない様子などを週1回は取り上げ、週3回の発行を検討する。 ○就職に関する各質問に対しては、現状を回答し、進路先がミスマッチとならないよう丁寧な指導を継続する。 ○ふるさとキャリア教育などをとおして引き続き地元を支える人材育成に取り組む。 ○今後、生徒へ周知する。加えて、自転車側が加害となる事例が多くなっている所以で生徒への注意を促す。 ○記念行事の生徒発表は、生徒が他科の取組を知る良い機会となった。 ○学校としてもものづくりに対して興味を持つ生徒に入学して欲しいメッセージを提示した。